

※下線が引かれている箇所は重要な項目として各班より発表

令和6年度 第1回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

グループ討議発言内容

【テーマ1 女性や現役世代が参加しやすい環境づくり】

グループ A

- ① 声掛け。
- ② 引っ張りこむ。
- ③ 子どもと一緒に参加からの役員への声掛け（母親世代）。
- ④ 参加しやすい事業などきっかけ作り。
- ⑤ やってみて後に続ける。
- ⑥ 年功序列をなくす・成功例に学ぶ（越沢そばなど）。
- ⑦ 自分の能力で活かされれば「やる気」になる。
- ⑧ 募集をする（具体的な役割、内容をしっかり示す。SNSの活用）。
- ⑨ 見える化（具体的な役割、例えばカレンダーづくり）。
- ⑩ 否定しない。
- ⑪ おもしろいこと（SNSで募集）をする!!遊びも必要（ホタル狩りなど）。
- ⑫ 年代にかかわらず、アイデアの募集。
- ⑬ 施策の柔軟化。

グループ B

- ① 女性、若者のイベント役割つける。
- ② 総代会、出席。
- ③ コロナ→色々なことが省略化、簡素化。
- ④ 楽しみ。
- ⑤ 季節のごとの行事、イベント。
- ⑥ 助成金（やる気のあるところに。健康教室とか、束縛は✕）。
- ⑦ 女性の枠を作る（女性限定の会）。
- ⑧ 女性が参加しやすい時間帯←日中帯に集まる。
- ⑨ 子どもも一緒に、OKにする。
- ⑩ 年齢で区切る（JCのように40歳以下など。若い人同士の方が気軽・話しやすい）。
- ⑪ 友達の紹介（友達を集まりに誘う）。
- ⑫ 飲食できる楽しさ、魅力ある集まり（弁当・お菓子・ケーキ・アルコール・コーヒーなど）。

グループ C

- ① 会議が夜間になる場合、終了時間明記する。←反面、夜間だと女性が出席しづらい。
- ② 年金受給開始年齢がV上がり。参加年齢も高くなる。若手不足。
- ③ 子ども会で終了。
- ④ 女性の団体が無くなっている。
- ⑤ 世帯主が代表で出る←具体的に誰か、息子か嫁か。そのままの声かけだと若手・女性が出づ
らい。
- ⑥ 会議の終了時間を明確にしたらどうか！
- ⑦ 歴史・文化的なものが根づいている。
- ⑧ 飲みニケーション 若者喜ばない。
- ⑨ 現役世代 夜や休日でなければ参加できない。
- ⑩ 休みはスポ少の送り迎え。
- ⑪ 地域性。
- ⑫ 若い人の意見→否定される→話せなくなる。
- ⑬ 女性 家から出づらい、家事などしなければならない。

【テーマ2 課題解決に取り組むための新しい連携の在り方】

グループ A

- ① 企業・商店・会社との連携。
- ② 地域の特技のある人を発見！紹介→イベントに繋げる。
- ③ 中学校・高校・大学との連携、学生を評価する（高校の探究学習の発表する）。
- ④ 都会と繋がる（旅行社との連携）。
- ⑤ 外国人と繋がる（神輿を担ぐなど、SNS 発信を通して）。
- ⑥ ユーチューバーと繋がる。
- ⑦ 国際村チームと連携。
- ⑧ JA、SEADS との連携。
- ⑨ 地域企業を活用した住民の参加。
- ⑩ 情報共有。
- ⑪ 隣合う町内会との協力。

グループ B

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ① 福祉部門（ボランティア） | — 社会福祉協議会。 |
| ② <u>町内会 草刈り・アメシロ</u> | — <u>業者に依頼（役員負担軽減）。</u> |
| ③ 高齢化で色々できなくなってきた | — 行政から委託があっても誰もやる人がいない。 |
| ④ <u>自治会内 LINE グループ</u> | — <u>災害。</u> |
| ⑤ 文化財 取組み方 | — 小・中学校との連携、郷土愛。 |
| ⑥ 一人暮らし ごみ出し | — 近所・隣組⇒自治会で取組み。 |
| ⑦ 自治会同士、町内会同士の連携 | |

グループ C

- ① 『地域振興の3者（さんもの）・・・ よそ者 若者 バカ者』。

↳ この人達の意見を取り入れる。

泉 観光地じゃないから、この人たちが来ない。

↳ 自己犠牲、おもしろい。

- ② 昔からの風習あるけど・・・ 時代に則した続け方。

新風の取入れ。

- ③ 外部の人が入りやすい。緩くするべき。

新しい考え方

女性・若い人の感性

酒田市
女性消防団ある

変えるきっかけ

古い考え方

- ④ 自分達の地域 = 他の地域。

↑

自分達だけだとままだらない = 合同でやる・・・合併まで行かずとも協力し合う。

統合

行政からのトップダウンではダメ。
自分達で機運を高めるボトムアップ。

得意なことをやれる

- ⑤ 中央高校（福祉）、山大（花笠サークル）からの協力。

↳ 各町のサロン、会食サービス、認知症サポーター養成講座。

- ⑥ 地域包括支援センター

↳ ぽっぽの湯を会場に『認知症カフェ』（終活の講座→悩みの共有）。

地域資源の有効活用

- ⑦ 行政（仲介役）から声掛けがあれば助かる。

「こんなことで困ってるなんよの～」→『ここに相談してみてもうどうだ？』

公園管理避難所

- ⑧ 町内会単位ではできないことを広域単位（コミセン）で実施。
↳ 増加している（草刈り）。

- ⑨ 夏まつり→ キッチンカー 大人気
運動会の反省会
町内女性の手作り ⇨ 業者の仕出し。

- ⑩ 隣集落、得意な人から役員になってもらう。